

$N$  は十進法で表された 4桁の自然数であり、千の位の数<sup>ひた</sup>が  $a$ 、百の位の数<sup>ひた</sup>が  $b$ 、十の位の数<sup>ひた</sup>が  $c$ 、そして一の位の数<sup>ひた</sup>が  $d$  である。次の各問に答えよ。

- (1)  $a - b + c - d$  が 11 の倍数ならば、 $N$  は 11 の倍数であることを示せ。  
 (2)  $N$  が 11 の倍数ならば、 $N^5 - N$  は 55 の倍数であることを示せ。

(14 茨城大 後 教育 1)

【答】

- (1) 略  
 (2) 略

【解答】

- (1) 4 桁の自然数  $N$  は  $N = a \cdot 10^3 + b \cdot 10^2 + c \cdot 10 + d$  であり

$$\begin{aligned} N &= a(11-1)^3 + b(11-1)^2 + c(11-1) + d \\ &= (11^3 - 3 \cdot 11^2 + 3 \cdot 11)a - a + (11^2 - 2 \cdot 11)b + b + 11c - c + d \\ &= 11M - (a - b + c - d) \quad (M \text{ は整数}) \end{aligned}$$

と変形できるから、 $a - b + c - d$  が 11 の倍数ならば、 $N$  は 11 の倍数である。

…… (証明終わり)

- 11 を法とする合同式を用いると簡潔に表すことができる。  
 $11 \equiv -1$  であることと、条件  $a - b + c - d \equiv 0$  を用いると

$$\begin{aligned} N &= a \cdot 10^3 + b \cdot 10^2 + c \cdot 10 + d \\ &\equiv a(-1)^3 + b(-1)^2 + c(-1) + d \\ &= -(a - b + c - d) \\ &\equiv 0 \end{aligned}$$

よって、 $N$  は 11 の倍数である。

- $a - b + c - d$  が 11 の倍数であることは、 $N$  は 11 の倍数であることの必要十分条件でもある。

- (2)  $N$  が 11 の倍数のとき、 $N^5 - N = N(N^4 - 1)$  は 11 の倍数だから、 $N^5 - N$  が 55 の倍数であることを示すには、5 の倍数であることを示せばよい。

$$N^5 - N = N(N-1)(N+1)(N^2+1)$$

連続した 5 整数の積が現れるように式を変形する。

$$\begin{aligned} N^5 - N &= N(N-1)(N+1)\{(N^2-4)+5\} \\ &= (N-2)(N-1)N(N+1)(N+2) + 5(N-1)N(N+1) \end{aligned}$$

1 項目は連続する 5 整数の積であり、5 つの因数のいずれか 1 つは 5 の倍数である。また、2 項目の  $5(N-1)N(N+1)$  は 5 の倍数である。

したがって、 $N^5 - N$  は 5 の倍数であり、55 の倍数である。…… (証明終わり)

- $N$  を 5 で割った余りで場合分けして、 $N^5 - N$  が 5 の倍数であることを示してもよい。

$$N^5 - N = N(N-1)(N+1)(N^2+1)$$

$n$  を整数として

(i)  $N = 5n$  のとき

$N$  が 5 の倍数であるから、 $N^5 - N$  は 5 の倍数である。

(ii)  $N = 5n + 1$  のとき

$$N - 1 = (5n + 1) - 1 = 5n$$

$N - 1$  が 5 の倍数であるから、 $N^5 - N$  は 5 の倍数である。

(iii)  $N = 5n + 2$  のとき

$$N^2 + 1 = (5n + 2)^2 + 1 = 25n^2 + 20n + 5 = 5(5n^2 + 4n + 1)$$

$N^2 + 1$  が 5 の倍数であるから、 $N^5 - N$  は 5 の倍数である。

(iv)  $N = 5n + 3$  のとき

$$N^2 + 1 = (5n + 3)^2 + 1 = 25n^2 + 30n + 10 = 5(5n^2 + 5n + 2)$$

$N^2 + 1$  が 5 の倍数であるから、 $N^5 - N$  は 5 の倍数である。

(v)  $N = 5n + 4$  のとき

$$N + 1 = (5n + 4) + 1 = 5(n + 1)$$

$N + 1$  が 5 の倍数であるから、 $N^5 - N$  は 5 の倍数である。

以上 (i)~(v) より、 $N^5 - N$  は 5 の倍数である。

- 5 を法とする合同式を用いると簡潔に表すことができる。

(i)  $n \equiv 0$  のとき

$$N^5 - N \equiv 0^5 - 0 = 0$$

(ii)  $n \equiv \pm 1$  のとき

$$N^5 - N \equiv (\pm 1)^5 - (\pm 1) = \pm(1 - 1) = 0 \quad (\because \text{以上, 複号同順})$$

(iii)  $n \equiv \pm 2$  のとき

$$N^5 - N \equiv (\pm 2)^5 - (\pm 2) = \pm(32 - 2) = \pm 30 \equiv 0 \quad (\because \text{以上, 複号同順})$$

以上 (i)~(iii) より、 $N^5 - N$  は 5 の倍数である。